

（３）第 3 回目ワークショップの記録

①プログラム

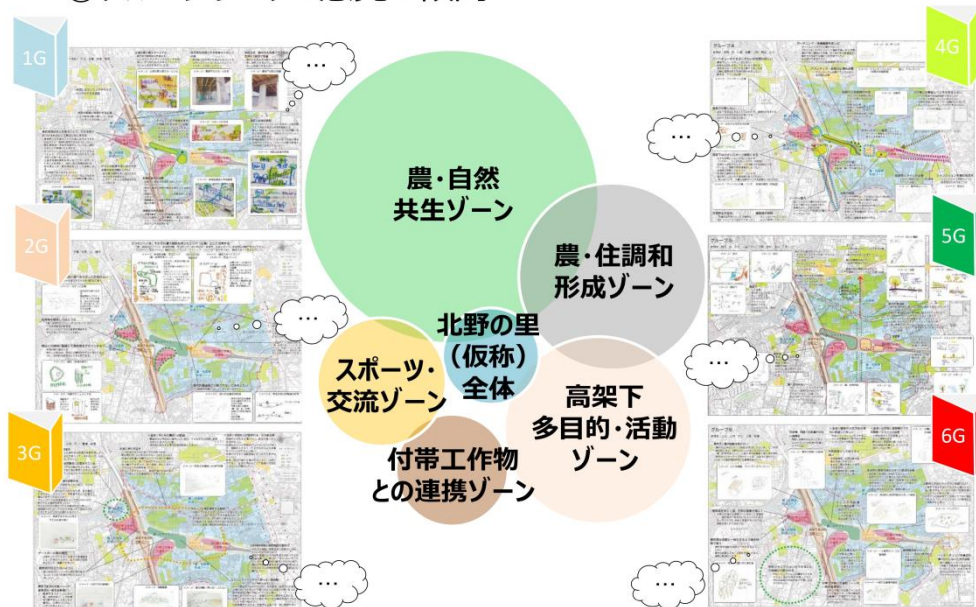
1. 開会（10 分） 13:00～13:10
2. ゾーニング案等の説明（40 分） 13:10～13:50
 - ①第 1 回目、第 2 回目ワークショップの簡単な振り返り／メインファシリテーター
 - ②ゾーニング案について／アーバンデザイン専門家、メインファシリテーター
3. グループワーク（135 分） 13:50～16:05
 - ①グループワークの説明（5 分）
 - ②グループワーク（120 分）
 - ③適宜休憩（10 分）
4. まとめ（35 分） 16:05～16:40
 - ①発表（20 分）
 - ②まとめ（15 分）
5. 主催者あいさつ・閉会（20 分） 16:40～17:00

②ゾーニング案等の説明

＜ゾーニング案について／アーバンデザイン専門家、メインファシリテーター＞

グループワークの意見整理（第 2 回目のまとめ）

①グループワークの意見の傾向



将来像
(北野の里(仮称)
まちづくり方針)

北野の里
(仮称)
全体

良好な緑と
農とコミュニ
ティを活か
し、はぐく
む北野

北野の里(仮称)まちづくり方針



平成25年3月
二 農 市

ゾーニング案(各コンセプト案)

空間や活動に関するこれまでの ご意見とエリアプラン

ジャンクション周辺

蓋かけ上部空間等

農・住調和形成ゾーン

農や緑の保全、住環境の保全…

農・自然共生ゾーン

原っぱ、農体験、築山や水辺…

スポーツ・交流ゾーン

スポーツ広場の確保、多様なスポーツ…

高架下多目的・活動ゾーン

雨の日も遊べる、防災倉庫、駐車場…

付帯工作物との連携ゾーン

自然と調和、楽しめるものに…



3

農・自然
共生ゾーン

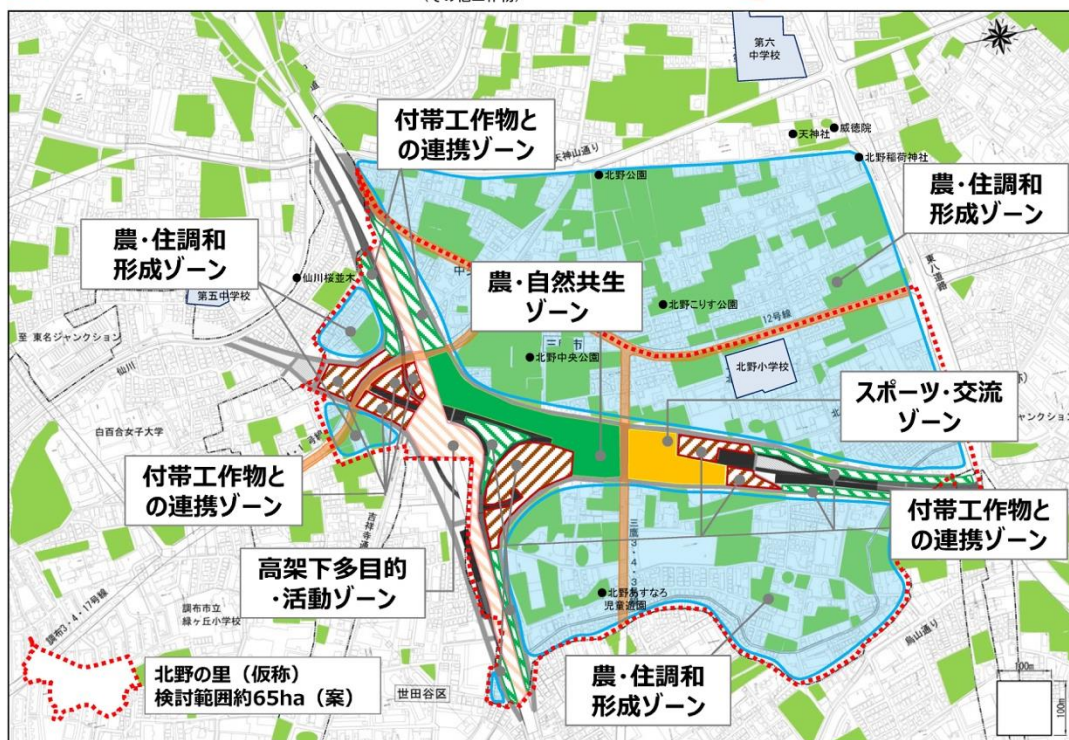
スポーツ・
交流ゾーン

(換気所・料金所等)
(その他工作物)

付帯工作物と
の連携ゾーン

高架下多目的
・活動ゾーン

農・住調和
形成ゾーン



4

北野の里（仮称）の将来像

良好な緑と農とコミュニティを活かし、はぐくむ北野



＜北野の里（仮称）全体におけるグループワークのご意見＞

- 里の範囲は北野 1 ～ 4 丁目まで
広げたい
- ジャンクションで地域が分断されない
ようにしよう
- 通過交通だけのインターチェンジにしない
- 蓋かけ上部空間等の外周にランニング
コースやサイクリングコースを設けたい
- 地下水の水質と水系を保全しよう
- 災害時に避難できる設備や場所を
確保しよう
- 騒音や大気汚染への対策、工事中
の安全の確保に取り組もう
- ジャンクションを囲む桜並木がほしい
- 公園の治安を確保したい

5

【ジャンクション周辺】 農・住調和形成ゾーン

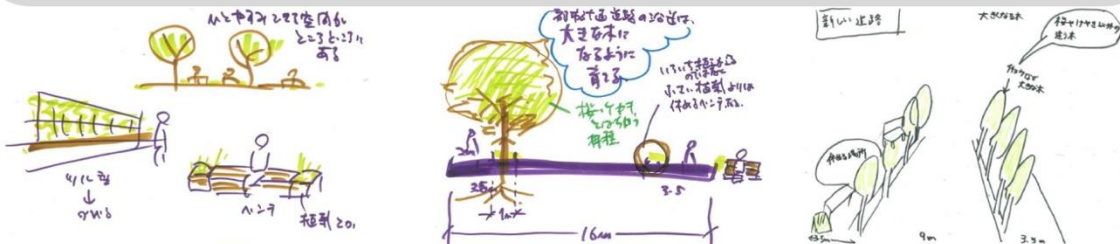
北野の里（仮称）の景観をつくる農地・屋敷林・
並木などの自然環境を守り、緑の連続性に配慮した
安全な道づくり・まちづくりを展開する

コンセプト案



＜農・住調和形成ゾーンにおけるグループワークのご意見＞

- 農や緑を守っていききたい
- 仙川とつながる恵まれた自然環境を
生かそう
- 地区公会堂を移設し、地域の人が
集まれる場所をつくろう
- 安全に歩ける道づくりをしたい
- 今の良好な住環境を保全し、商業は東八
道路沿いに集約化しよう
- 都市計画道路沿道の住環境を守り、街路
樹で緑をつなぎたい
- バス停に^{あずまや}四阿とベンチがあるとよい



6

【蓋かけ上部空間等】 農・自然共生ゾーン

北野の農のある風景を望むことができ、農による人々の交流と共に緑の原っぱで子どもたちが遊べる空間を形成する

コンセプト案



<農・自然共生ゾーンにおけるグループワークのご意見>

- コミュニティセンター＋原っぱ＋農体験などの多目的活動・交流の場にしたい
- 市民農園や体験農園を楽しみたい
- バーベキューも楽しみたい
- 花と緑の小道をつくりたい
- 農の環境や公園の環境と調和した植樹をしたい
- 築山や水辺があると良い
- 泥んこ遊びや木のぼりなど、プレーパークのように遊びたい



7

【蓋かけ上部空間等】 スポーツ・交流ゾーン

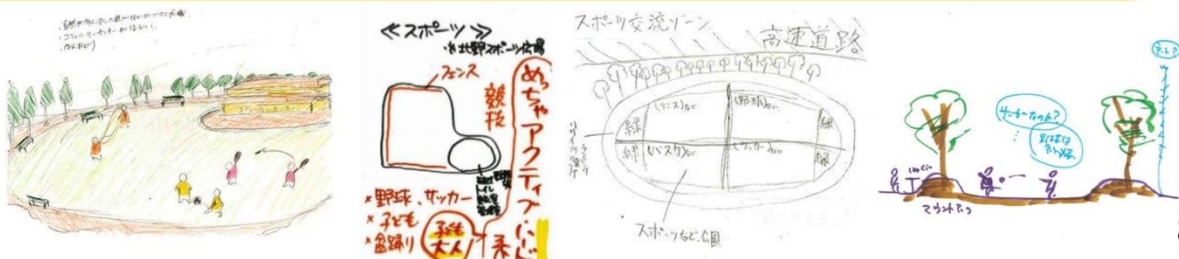
多様なスポーツを通じて多世代のコミュニティをはぐくむ、活気ある交流の空間を形成する

コンセプト案



<スポーツ・交流ゾーンにおけるグループワークのご意見>

- サッカーや野球など、既存のスポーツ広場の機能を確保したい
- タイムシェアなどにより、多様なスポーツを楽しめる場にしたい
- トイレのある管理棟や駐車場を設けたい
- 団体だけでなく、一人でも使えるスペースがあると良い
- コミュニティのための広場が欲しい
- ドッグランを設けたい



8

【蓋かけ上部空間等】 高架下多目的・活動ゾーン

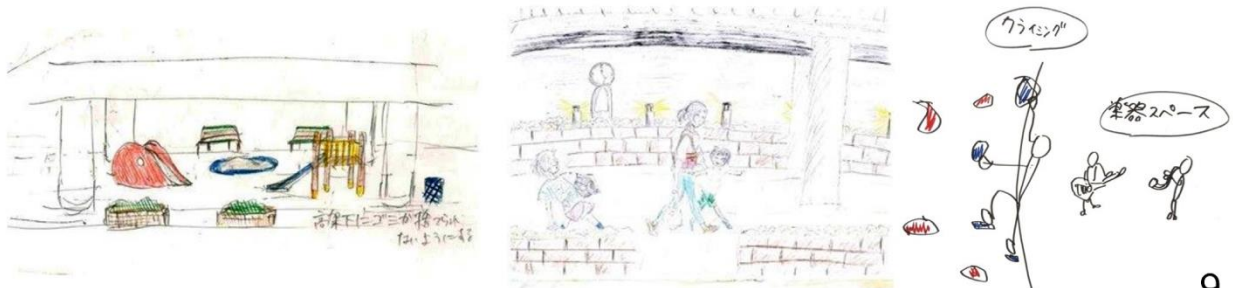
高架下を一体的に利用し、スポーツや散歩等ができ、災害時には防災機能も合わせ持つ、多目的な空間を形成する

コンセプト案



＜高架下多目的・活動ゾーンにおけるグループワークのご意見＞

- 高架によって地域が分断されないようにしたい
- 防災倉庫を設けたい
- 高架下を多様なスポーツの場にしたい
- 駐車場を設けたい
- 雨の日も遊べる子どもの遊び場や保育所にしたい



9

【蓋かけ上部空間等】 付帯工作物との連携ゾーン

換気所・料金所などの高速道路施設と周辺の緑・公園が一体となって北野の里（仮称）の景観をつくり出す

コンセプト案



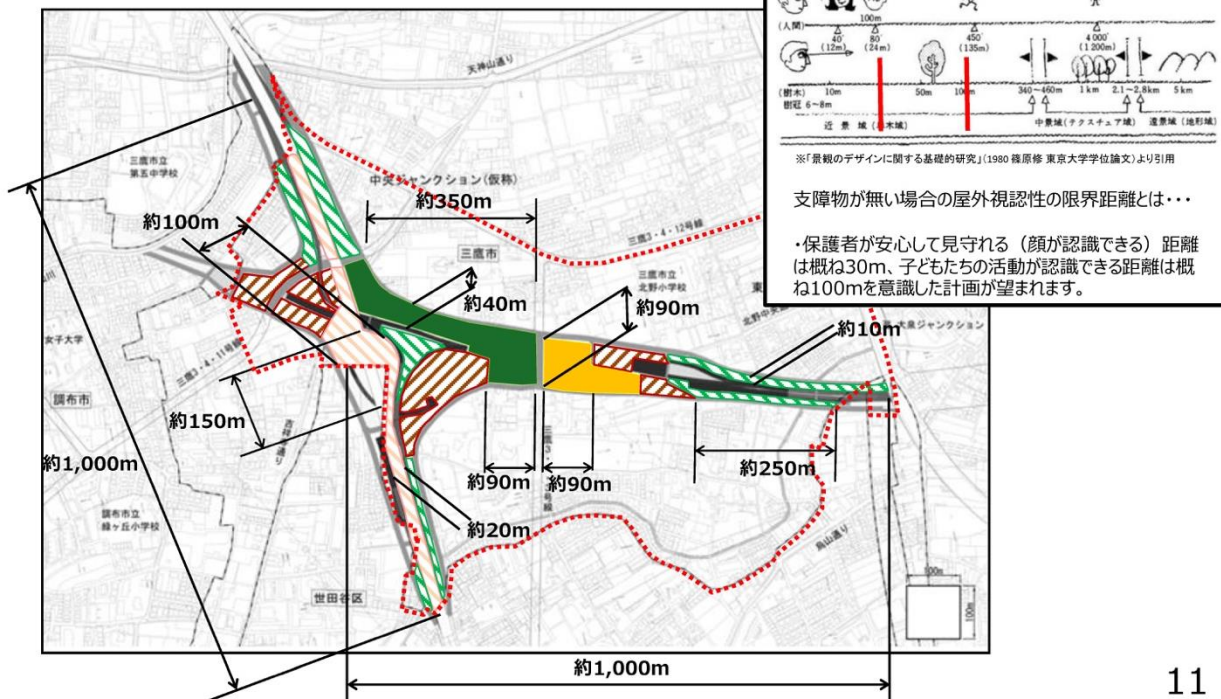
＜付帯工作物との連携ゾーンにおけるグループワークのご意見＞

- 自然環境と調和するよう、換気塔のデザインや周囲の植樹を行いたい
- ソーラー発電に取り組みたい
- ゾーンの一部に駐車場を設けたい
- 換気塔の壁面に映画を投影したり、子どもと絵を描いたり、楽しめるものにしたい

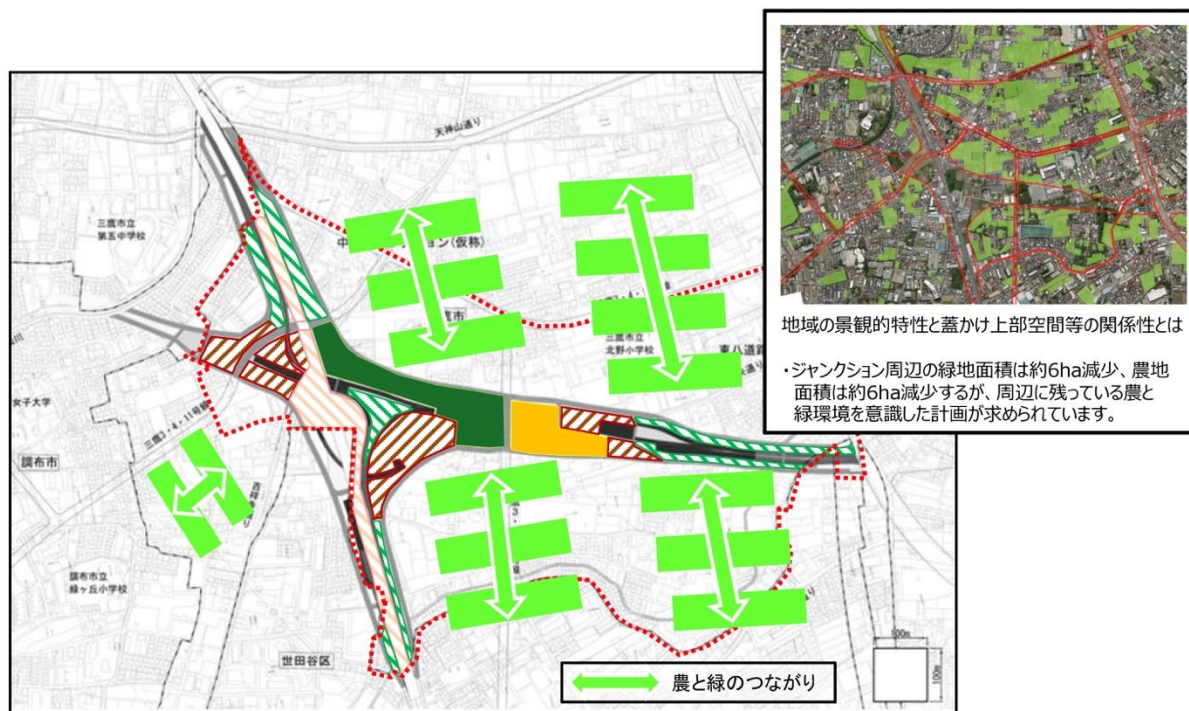


10

蓋かけ上部空間等の敷地規模と認知限界について



11

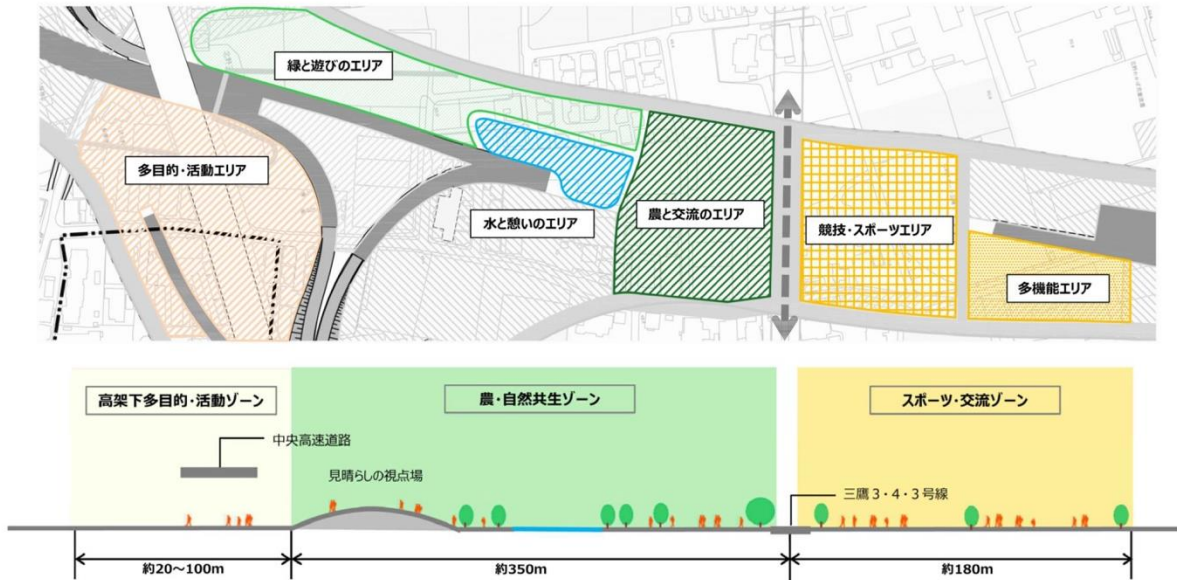


12

1 周辺農地とつながりを持ち北側へ伸びやかな地形で広がりを出す景観（案）

テーマ

「農と交流（農景観）」と「競技・スポーツ（運動）」による「地域の顔づくり」

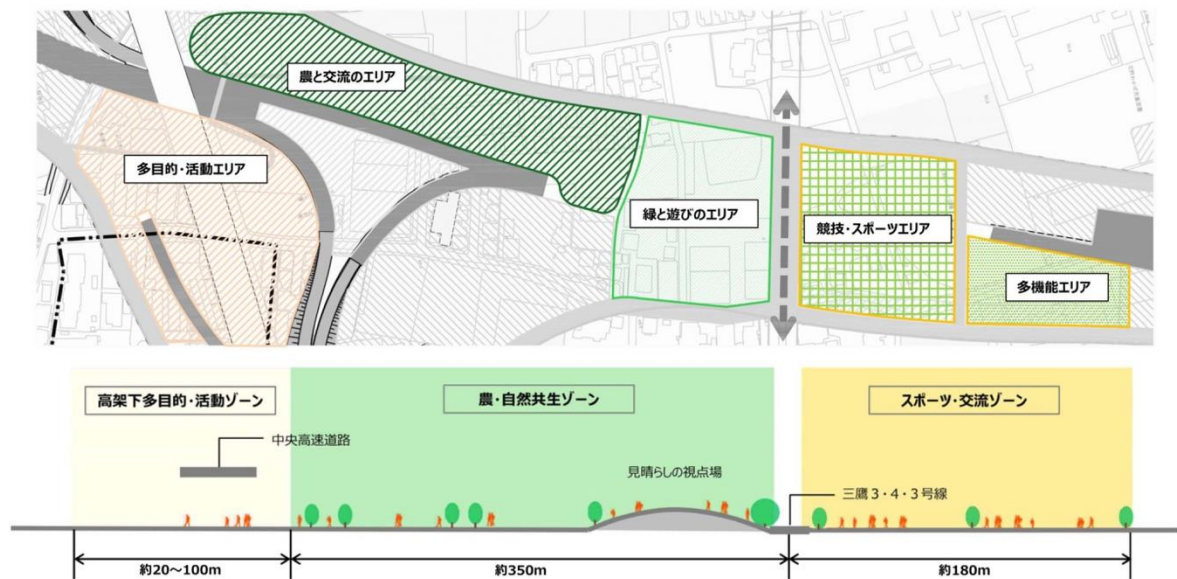


13

2 周辺農地とつながりを持ち中央部の築山から南北の空間へつながる景観（案）

テーマ

「緑と遊び（子どもの活力）」と「競技・スポーツ（芝生など）」による「にぎわいの顔づくり」



14

③グループワークの記録

第3回目ワークショップ（全グループの意見のまとめ）

北野の里（仮称）全体

- 北野の里の区域はコミュニティの単位と合わせて北野全域にすることが望ましいが、土地利用等の規制を伴うものであれば、影響が心配
 - 北野の里（仮称）の範囲は北野全域にしたい
 - 北野の里（仮称）の範囲は町会（コミュニティ）の単位に合わせよう
 - 北野の里（仮称）の範囲を広げすぎると、今後の土地利用等に影響を及ぼす可能性がないか心配
- 北野の里の区域や取り組み内容を地域内外にしっかり周知し、理解してもらうことが大切
 - 北野の里の区域の住民への理解・周知が大切である
 - 北野の里の区域が地域内外から認識・理解される工夫が必要である
- 北野の地域特性を踏まえ、北野の里やジャンクションの名称を検討する必要がある
 - 既存の里のイメージとの違いも踏まえて、名称の再検討が必要である
 - ジャンクションや北野の里の名称は、コンセプトを受けたブランドがつけられるものがよい
- 次世代に土地を受け継ぐことを考えた計画づくりが必要
 - これから土地を受け継ぐ後継者のことを考え、次世代に引き継げる計画づくりを検討したい
- 「多世代交流」「にぎわい」「人口減少」などをキーワードにまちづくりを進めたい
 - 北野の里の顔づくりでは、「多世代交流」「にぎわい」をキーワードに計画づくりを進めたい
 - 人口減少を食い止めるまちづくりをしたい
- 地域住民を第一に考えて静かな北野の環境を守りながら、利用しやすい施設や道、ここにしかない魅力をつくっていききたい
 - 地域の住民を一番に考え、今の北野の静かな環境を大切にしたい
 - 地域の人々が利用しやすい施設や、行き来しやすい道となるのが重要
 - 静かな北野のままでありながら、ここにしかない目玉をつくりたい
- 富士山の眺望を大切にしたい
 - 富士山の眺望に期待したい
- 景観的つながりを大切にしたい
 - 「景観的なつながりを大切にする」という表現を入れた方がよい
- 既存の緑道をつなげて回遊性を高めたい
 - 既存の緑道などとつなげた回遊性を高められるとよい
- ランニングコースやサイクリングコースは日常の通行と交錯しないようにしたい
 - ランニングコースやサイクリングコースは日常の通行と交錯しないよう配慮する
- ジャンクションを囲むみどりは、桜に限定せずに検討したい
 - 桜並木でジャンクションを囲むにはメリット・デメリットがありそう
 - ジャンクションを囲む植栽は桜に限定しなくてもよい

■ 水質の保全を見守りたい

- 水質の保全を見守りたい

■ 防災性や治安の確保を基本としたい

- 災害時の避難場所を確保
- みどりと花、治安の確保を基本とする

■ 地域の住民が参加し、担い手となり、ともに創っていききたい

- 住まい手の参加、住まい手が担い手となりともに創るというコンセプトが大切である

■ 完成後の管理・運営のことをしっかりと考えたい

- 完成後の管理・運営のことをしっかりと決めたい

農・住調和形成ゾーン

北野の里(仮称)の景観をつくる農地や、みどり豊かな環境を守り、みどりの連続性に配慮した安全・安心なみちづくりまちづくりをする

【ゾーニング案について】

■ 農地や緑地を保全する仕組みが必要

- 農地や緑地を保全するための仕組みが必要
- 地元権利者がみどりや農地等の保全に協力したくなる仕組みづくりが必要である

■ 都市計画などによる農地や緑地を保全するための仕組みが必要

- 都市計画や税制による農地や緑地を保全するための仕組みが必要

■ 大型商業施設の立地は東八道路沿いのみに認めるなど、都市計画道路沿道の環境を保全したい

- 都市計画道路沿道の環境をいかに保全するかが重要
- 大型商業施設は東八道路沿いのみに立地してほしい

■ 通学路を含む道路の安全性を確保したい

- 通学路の安全性を確保したい
- 都市計画道路の分断については、歩行者と車の動線をしっかり分け、事故が起きないようにする

■ 今あるみどりを保全しながら回遊ルートを設定したい

- 回遊ルートは、今あるみどりを大切に設定したい
- 仙川は北野を流れておらず、誤解を与える表現になっている

【施設や空間、活用（アクティビティ）のイメージについて】

- 多世代が当番制で農作業に関わるような仕組みがあるとよい
- 都市計画道路沿道の街路樹は樹種を選んで植えた方がよい
- 機能補償道路のガードパイプは安全性、防犯性、景観に配慮し、みどりと調和した色彩や構造とする
- ミニスポットを歩いて回れる回遊散策路づくりを進める
- 公会堂は蓋かけ上部空間の中心の近くに移設できるとよい
- バス停は雨を避ける屋根程度の設備があれば十分

農・自然共生ゾーン

北野の緑と農のある風景を望むことができ、多世代がそれぞれの活動を通じて交流する憩いの空間を形成する

【ゾーニング案について】

■ 周囲の既存の農地活用も視野に入れた交流の場をつくる

- 農による交流は農・住調和形成ゾーンの既存の農地活用も視野に入れるとよい

■ しっかり管理されたみどりの空間にしたい

- 管理されたみどりの空間にしたい

■ 多世代が利用できる空間にしたい

- 子どもから高齢者まで利用できる空間にしたい

【施設や空間、活用（アクティビティ）のイメージについて】

- 市民農園や体験農園、花壇があるとよい
- 農と交流のエリアは周辺の農地と近い位置がよい
- 農と交流のエリアとみどりと遊びのエリアの際に管理棟があると便利
- コミュニティセンターや市民農園等の管理体制は今から気にかけておきたい
- 体験農園を設けて周辺の農家の活性化につなげたい
- 築山の配置は見通しに配慮してほしい
- 水場のデザインは必要な機能をしっかりつめて考える
- 「水と憩いのエリア」は遊べる水辺か眺める水辺か方針を決めた上で設置したい
- 子どもが安全に楽しめる・学べる小さな親水空間づくりがしたい
- 子どもが遊べる水辺が丘を囲むようにしたい
- 子どもを見守れる空間デザインにしたい
- 公園部分は子どもを第一に考える
- 住民管理花壇のような、住民が継続的に関わりやすい・関わりたくなる仕掛けが用意できるとよい
- 築山の設置には、防災性（災害時の空間の使い勝手）と安全性（子どもの交通安全）に配慮することが大切である
- 築山は視点場として富士山を眺めたり、子どもたちを見守る場となるとよい
- 築山はエリアプラン1のように奥まった場所にほしい
- 見晴らしの山と遊びの山をすみ分ける
- シンボルツリー、歩ける空間があるとよい
- 植樹はハナミズキなどの管理しやすいものがよい
- ベンチやテーブルがあり多世代が楽しめる芝生の広場にしたい
- 地域の人の利用を中心に考え、ごみが捨てられないようなマナーの喚起に努める

スポーツ・交流ゾーン

多様なスポーツを通じて地域のコミュニティをはぐくむ、活気ある交流の空間を形成する

【ゾーニング案について】

■ 多様なスポーツが共存する場所にしたい

- 多様なスポーツが共存できる場所にしたい

■ 既存のスポーツ広場の機能を引き継ぐ団体競技を優先した場所にしたい

- 既存のスポーツの代替を優先して考える
- 北野スポーツ広場が有していた機能をできる限り確保したい
- 「高架下多目的・活動ゾーン」の「スポーツ」とのすみ分けがわかる表現にしたい（一定のルールが伴う「団体競技」がメインというイメージ）

■ 東西に通る機能補償道路は歩行環境を優先したい

- 機能補償道路（競技・スポーツエリアと多機能エリアの間）は、歩行者優先に通れる道路にしたい

【施設や空間、活用（アクティビティ）のイメージについて】

- 「顔づくり」の視点では、芝生を張り、前面にみどりを打ち出すような空間が望ましい
- 「競技スポーツエリア」は芝生で様々な人が使える場とした方がよい
- なるべく広くスポーツができるようにしたい
- 地域の子どもたちが優先して使える予約システムが必要
- 横断歩道や信号機設置など、分断されない工夫が必要である（三鷹 3・4・3 号線）
- 舗装を工夫するなど、通過車両のスピードを抑止する工夫が必要である（三鷹 3・4・3 号線）
- コミュニティ施設・管理棟は利用しやすく
- 2 つにエリアを分けているのはよい
- 公会堂のような機能をスポーツ・交流ゾーンへ
- 管理棟の管理体制は今から気にかけておきたい
- 管理棟付近に自転車置き場があるとよい

高架下多目的・活動ゾーン

高架下を利用したつながりに配慮し、スポーツやレクリエーションが楽しめて防災機能も合わせ持つ、多目的な空間を形成する

【ゾーニング案について】

■ 個人が自由に楽しめるスポーツの場となってほしい

- 「スポーツ・交流ゾーン」の「スポーツ」とのすみ分けがわかる表現にしたい（個人の創意工夫で自由に楽しめるスポーツというイメージ）

■ 雨の日でも楽しめる多目的なレクリエーションの場になってほしい

- 雨の中でもレクリエーションができる多目的な空間にしたい

■ 行き来しやすい、治安のよい場所になってほしい

- 人が行き来しやすく、治安のよい場所にしたい

■ 防災機能を有した場所になってほしい

- 防災機能として防災倉庫と避難所機能がほしい

【施設や空間、活用（アクティビティ）のイメージについて】

- 多目的に利用しやすくしたい
- 公園や保育所を設ける場合は、採光やみどりの設置に配慮し、夜間もライトアップして安全性を保てるようにする
- バッティングなどの音がでるスポーツの利用が望ましい
- 保育所整備にはアクセスの確保が大切
- 高架下北東のエリアは、駐車場や消防訓練ができる空間がよい

付帯工作物との連携ゾーン

換気所・料金所などの高速道路施設と周辺のみどりや様々な活動が一体となって、北野らしい景観を形成する

【ゾーニング案について】

■ 換気塔は周囲に馴染むとともにシンボルとしても活かしたい

- 換気塔は隠すことと活用することを共存させたい
- 換気塔はシンボルにもなるデザインにしたい

■ 換気塔による周囲への環境影響が心配

- 換気塔による周囲の環境影響が心配

【施設や空間、活用（アクティビティ）のイメージについて】

- 愛を叫ぶ丘をつくり、換気塔の壁面が見えないようにする
- 換気塔は築山などで覆い視点場として使えるとよい
- 機能だけでなく、人が入れるアクティビティも追加したい
- 換気塔周辺はみどりに囲まれたスケボーエリアにしたい
- 駐車場は動きやすいところに分散して配置したい
- 人が入れない場所では自然エネルギー発電を行いたい
- 2つの換気所は、それぞれ特徴のある異なる使い方ができるとよい

第3回目ワークショップ（グループ別の意見のまとめ）

1 グループ（参加者 5 名）

北野の里（仮称） 全体		○ 地域の住民を一番に考え、今の北野の静かな環境を大切にしたい ・ 世界に発信して、海外からも観光客が訪れるような、賑わいのある場所にするのではなく、ジャンクションをつくるために土地を渡した地域の方々を一番に考え、現在の北野の静かなイメージを大切にしたい ○ 静かな北野のままでありながら、ここにしかない目玉をつくりたい ○ これから土地を受け継ぐ後継者のことを考え、次世代に引き継げる計画づくりを検討したい ○ ジャンクションや北野の里の名称は、コンセプトを受けたブランドがつけられるものがよい ○ 完成後の管理・運営のことをしっかりと決めたい
農・住調和形成 ゾーン	ゾーニング 案について	○ 農地や緑地を保全するための仕組みが必要 ・ アパート収入や商業収入より農業収入が少ないため、今後、相続の問題が発生した時に、真っ先に農地を手放すことが想定される ・ 農地を保全するためには、個人の努力に任せるのではなく、国や都、市による仕組みの構築が必要 ・ 農地保全特区にする ・ ジャンクションに立地を活かし、三鷹野菜の物流拠点をつくり、全国に発信していく ・ 直売所を集約して、休日には周辺の方々が野菜を買いに訪れるような拠点をつくる ・ 地域からも応援されるようなものにしたい ○ 都市計画道路の分断については、歩行者と車の動線をしっかり分け、事故が起きないようにする
	施設や空間、 活用のイメージ	○ 機能補償道路のガードパイプは、安全性、防犯性、景観に配慮し、みどりと調和した色彩や構造とする ・ 柑橘系の色でみどりと調和させるのはどうか
農・自然共生 ゾーン	ゾーニング 案について	
	施設や空間、 活用のイメージ	○ 地域の人々の利用を中心に考え、ごみが捨てられないようなマナーの喚起に努める
スポーツ・交流	ゾーニング	

ゾーン	案について	
	施 設 や 空 間、活用の イメージ	○ 「顔づくり」の視点では、芝生を張り、前面にみどりを打ち出すような空間が望ましい ○ 地域の子どもたちが優先して使える予約システムが必要
高架下多目的・活動ゾーン	ゾーニング案について	
	施 設 や 空 間、活用の イメージ	○ 公園や保育所を設ける場合は、採光やみどりの設置に配慮し、夜間もライトアップして安全性を保てるようにする ○ バッティングなどの音のでるスポーツの利用が望ましい
付帯工作物との連携ゾーン	ゾーニング案について	
	施 設 や 空 間、活用の イメージ	○ 愛を叫ぶ丘をつくり、換気塔の壁面が見えないようにする ○ 機能だけでなく、人が入れるアクティビティも追加したい

2 グループ（参加者 5 名）

北野の里（仮称） 全体	○ 住まい手の参加、住まい手が担い手となりともに創るというコンセプトが大切である ・ みどりを残し、つくることに協力する地域の方の参加が不可欠 ・ 地元権利者の協力が前提となるほか、ボランティア等で新たに参加する住民も大切。小・中学生など、多世代の参加も大切 ○ 北野の里の区域が地域内外から認識・理解される工夫が必要である ・ 北野の里がどこまでの区域がよいか、というよりも、どの区域を北野の里と認識・理解させることができるかということの方が先に検討が必要である ・ 例えば、子どもが北野の里へ遊びに行ってくると言われても、具体的にどこに行くのかがわからない ・ 工夫①／施設名との連動：例えば、北野の里〇〇公園など、北野の里〇〇農園など、何らかの形で名称を連動させる ・ 工夫②／回遊散策路：外周に回遊散策路をつくり北野の里の範囲を物理的に示す、カフェ・集いの場・野菜直売所（農家協力）などのミニスポットを点在させて回遊散策路で巡れるようにする ・ 工夫③／サイン・マップ：回遊散策路の案内サインや北野の里を周知するマップを作成する ○ 既存の里のイメージとの違いも踏まえて、名称の再検討が必要である ・ 既存の里（大沢、牟礼、丸池）と北野の里は、イメージが違うので、差別化して名称を再検討する視点も大切である ・ 北野の「郷」の方が、しっくりくる ○ 北野の里の区域の住民への理解・周知が大切である ・ 北野の里の区域に自分の住まいが入っていること、それ自体やその理由、メリット・デメリットを住民に知らせることが大切である ・ 北野の里の区域に自分の住まいが入ることで、何が協力できるかということも同時に知らせることが大切である ○ 北野の里の顔づくりでは、「多世代交流」「にぎわい」をキーワードに計画づくりを進めたい ・ 具体的なエリアの作り方については、エリアプランの両案のいいところ取りをしつつ、1 案のコンセプトが基本的にはよい ・ 1 案のコンセプトを大事にしつつ「競技・スポーツエリア」では、競技スポーツもできるようにしてほしい
農・住調和形成 ゾーン	ゾーニング 案について ○ 地元権利者がみどりや農地等の保全に協力したくなる仕組みづくりが必要である ・ 今のままでは相続等でみどりや農地がなくなるのは目に見えている ・ （再掲）地元権利者の協力が前提となるほか、ボランティア等で新たに参加する住民も大切。小・中学生など、多世代の参加も大切

	施設や空間、活用のイメージ	○ ミニスポットを歩いて回れる回遊散策路づくりを進める ・（再掲）工夫②／回遊散策路：外周に回遊散策路をつくり北野の里の範囲を物理的に示す、カフェ・集いの場・野菜直売所（農家協力）などのミニスポットを点在させて回遊散策路で巡れるようにする ○ 多世代が当番制で農作業に関われるような仕組みがあるとよい ・ 農家の協力も得て、小・中学生が当番制で農作業ができるとよい ・ 丸池の里わくわく村のような仕組みがよい ・ 市民農園が確保できるとよい
農・自然共生ゾーン	ゾーニング案について	
	施設や空間、活用のイメージ	○ 子どもが安全に楽しめる・学べる小さな親水空間づくりがしたい ・ 大きすぎる水辺をつくると、子どもの安全が心配である。また、ガマガエルの大量発生も心配であるし、管理も大変 ・ 子どもが楽しむという意味では、小さな親水スポットがあれば十分楽しめる ・ ビオトープにすれば、子どもの学びの場にもある ○ 住民管理花壇のような、住民が継続的に関わりやすい・関わりたくなる仕掛けが用意できるとよい ・ ボランティア花壇をつくって、新たな方が関わるとよい ・ 花壇の管理であれば、幼稚園・保育園、北野小学校の生徒、老人会など、多世代に関わりやすく、交流の機会にもなる ○ 築山の設置には、防災性（災害時の空間の使い勝手）と安全性（子どもの交通安全）に配慮することが大切である ・ 築山があるのはいいが、広場の防災機能を踏まえて、災害時の使い勝手が悪くならないように、適切な配置や規模とする計画が大切である ・ 子どもは築山を全力で上り下りすると思うので、勢いで道路に飛び出さないように対策することが不可欠である ○ 築山は視点場として富士山を眺めたり、子どもたちを見守る場となるとよい ・ 築山から富士山が見えるとよい（富士見ヶ丘と名付ける） ・ 三鷹３・４・３号線側に整備した場合は、スポーツ広場の子どもたちを見守るような場になることも考えられる
スポーツ・交流ゾーン	ゾーニング案について	○ 「高架下多目的・活動ゾーン」の「スポーツ」とのすみ分けがわかる表現にしたい（一定のルールが伴う「団体競技」がメインというイメージ） ・ この「スポーツ」は、一定のルールが伴う「団体競技」がメインというイメージである ○ 北野スポーツ広場が有していた機能をできる限り確保したい

		・ サッカー、野球などの団体競技で試合や練習ができる場所 ・ 幼稚園の運動会もできる場所 ・ 高架下では自由にスポーツができるが、ここは基本的には申し込み制である ○ 機能補償道路（競技・スポーツエリアと多機能エリアの間）は、歩行者優先に通れる道路にしたい ・ この道路の必要性はよくわからない。地域の方も利用しないのではないか ・ 車優先の道路整備は NG である ・ 歩行者優先で、自転車が通れるくらいの通路で十分である ・ そもそもこの道路はなくてよい
	施設や空間、活用のイメージ	○ 横断歩道や信号機設置など、分断されない工夫が必要である（三鷹 3・4・3 号線） ・ 通学路にもなと思うので、横断歩道や信号は必要である ○ 舗装を工夫するなど、通過車両のスピードを抑止する工夫が必要である（三鷹 3・4・3 号線） ・ 舗装を他と変える、舗装でカーブに見える・道が狭く見えるようにするなど、視覚的に運転手がスピードを抑えるような工夫があるとよい
高架下多目的・活動ゾーン	ゾーニング案について	○ 「スポーツ・交流ゾーン」の「スポーツ」とのすみ分けがわかる表現にしたい（個人の創意工夫で自由に楽しめるスポーツというイメージ） ・ ここの「スポーツ」は、個人の創意工夫で自由に楽しめるスポーツというイメージである
	施設や空間、活用のイメージ	
付帯工作物との連携ゾーン	ゾーニング案について	
	施設や空間、活用のイメージ	

3 グループ（参加者6名）

北野の里(仮称)全体	○ 北野の里(仮称)の範囲は北野全域にしたい ・ 町丁目の単位と里のエリアは一致させた方がよい ・ 町会や住民協議会も一つにまとまっているのがこの地域のよいところなので、それを継承したい ・ 中央道や外環でこれまで北野の町が分断されてきている。物理的に分断されても、北野という町が一つになる意識を次の世代にもつなげたい ・ 北野の里＝北野全域とした方が合意形成もしやすく、自然と集まりやすい ○ 人口減少を食い止めるまちづくりをしたい ・ 外かく環状道路の整備に伴い、多くの家屋が地域外に移転することになった。北野小学校は移転後も児童数は増えているが、現在の農と住環境の環境を保全することを優先して、地域の人口が減ってしまうことは避けたい ・ 人口減少は食い止めたいが、マンションが建ち並んでしまうと、現在の風景や環境が失われてしまう。開発と抑制のバランスが難しくなりそうだ ○ 桜並木でジャンクションを囲むにはメリット・デメリットがありそう ・ サクラの木は成長が早く、適正に管理しないと、見通しが悪くなり、子どもの安全などの点でかえって心配だ ・ 六中前にも桜並木があるが、当初は楽しめたが、現在は見通し確保などから強剪定されてしまっている。さらに虫が落ちてきたり、駐車が増えるという問題点もふまえて検討すべきだ ○ 富士山の眺望に期待したい ・ 築山から富士山を望めるのはよいが常にその眺望を望むことができるか ・ 現在も工事フェンスの先に自宅から富士山を望むことができているので、築山がなくても富士山は望むことはできそうだ。むしろ周囲に高い建物が建ったり、高い並木ができてしまうことにより眺望が阻害されることが懸念される ○ 既存の緑道などをつなげた回遊性を高められるとよい ・ 前回ワークショップでも提案した8の字ループが実現するとよい ・ 農業用水や遊歩道など既存の資源を活かして歩いて楽しめる地域づくりができるとよい ・ ジョギングや散歩のほか、犬の散歩など人が通りやすい空間を確保したい ○ 水質の保全を見守りたい ・ 仙川に湧水があるが、外環整備で水質が悪化しないか心配だ。貴重な資源なので、ずっと神経質になるくらい見守っていききたい ○ 災害時の避難場所を確保 ・ 災害時に子どもたちがまとまって避難できる場所が蓋かけ上部空間にあるとよい。まとまって避難でき、施設が大きいと目印として保護者も迎えにも行きやすく安心できる	
農・住調和形成ゾーン	ゾーニング案について	○ 都市計画や税制による農地や緑地を保全するための仕組みが必要 ・ 外環によって農地がだいぶ減ってしまった。農地をこれ以上減らしたくない。ただ農業というなりわいとして続けるためには、都市計画だけでなく税制などさまざまな仕組みを変えないと現実には難しい

		○ 通学路の安全を確保したい ・ 外かく環状道路の開通後、地域外の車や人が入ってきて、交通事故や犯罪に子どもたちが巻き込まれないか心配だ
	施 設 や 空間、活用のイメージ	
農・自然共生ゾーン	ゾーニング案について	○ 農による交流は農・住調和形成ゾーンの既存の農地活用も視野に入れるとよい ・ 市民農園は区画ごとにそれぞれが作っていくので、荒れ地のようになってしまう区画もできるだろう。農風景としての連続性や一体感は期待できないだろう ・ 蓋かけ上部空間に市民農園を設けるのは、もったいない。むしろ現在失われつつある農地を活用して市民農園などを行った方が農地保全にも寄与するだろう ○ 管理されたみどりの空間にしたい ・ 美しい風景を作っていくためには、利用者それぞれに任せるのは難しいだろう。責任をもって管理していくしくみが必要になるだろう
	施 設 や 空間、活用のイメージ	○ 子どもを見守れる空間デザインにしたい ・ 大人が安心してみられるように見通しのよい空間デザインをしてほしい ○ シンボルツリー、歩ける空間があるとよい ・ イラストにあるようなシンボルツリーと遊歩道が整備され、歩いて楽しめるような空間があるとよい
スポーツ・交流ゾーン	ゾーニング案について	
	施 設 や 空間、活用のイメージ	○ 2 つにエリアを分けているのはよい ・ 予約することで、使いたいときに使えずハードルが上がってしまうことがある。ルールはあまり決めずに気軽に使えるとよい ・ 競技用のサイズがとれなくても、団体が球技で利用できる場所は確保したい。以前のスポーツ広場も正規のサイズは取れなかったが、団体利用していた ・ 自由に気軽に使える空間と団体利用ができる空間をゾーン分けしてある点で、現プランはよい ○ 公会堂のような機能をスポーツ・交流ゾーンへ ・ 現在ある公会堂は北野全域からするとアクセスしづらい場所に位置する。蓋かけ上部空間の施設の中に機能を集約し、管理者が常駐するなど地域の人を使いやすいスペースになるとよい

高架下多目的・活動ゾーン	ゾーニング案について	○ 防災機能として防災倉庫と避難所機能がほしい ・ (再掲)災害時に子どもたちがまとまって避難できる場所が蓋かけ上部空間にあるとよい。まとまって避難でき、施設が大きいと目印として保護者も迎えにも行きやすく安心できる
	施設や空間、活用のイメージ	○ 保育所整備にはアクセスの確保が大切 ・ 保育所ができることは、人口増としても期待できるが、現在は1時間1本のバスしかなく交通の便が悪い。保育所開設にあたっては、バスなどアクセスが向上しないと利用者がいないのではないか
付帯工作物との連携ゾーン	ゾーニング案について	○ 換気塔による周囲の環境影響が心配 ・ 換気塔の高さが気になる。高さによっては日影で周辺地域に影響が起きそう ○ 換気塔はシンボルにもなるデザインにしたい ・ 換気塔は白い壁みたいなものだと言われ、景観上そぐわない。15mの高さとなると植樹だけでは隠せないだろう。隠せないのであれば、地域のシンボルになるようなデザインにできるとよい
	施設や空間、活用のイメージ	

4 グループ（参加者 5 名）

北野の里（仮称） 全体	○ 地域の人が利用しやすい施設や、行き来しやすい道となるのが重要 ○ みどりと花、治安の確保を基本とする ・ 「できてよかったね！」と地域の人から言われたい！ ・ 各場所に行き来できる道が必要 ・ 治安のための街路灯は絶対必要 ・ みどりと花が基本！！隙間があれば花壇を作ってほしい	
農・住調和形成 ゾーン	ゾーニング 案について	○ 回遊ルートは、今あるみどりを大切に設定したい ・ どう考えているか地元の人の意見を大切にしたい。公園など今ある物を大切に ・ 回遊は、まち歩きで通った細い住宅地の道ではなく、まわりに新しくできた道で検討してはどうか ○ 大型商業施設は東八道路沿いのみに立地してほしい ・ 東八道路に商業施設を、車がたくさん入ってこないように
	施 設 や 空 間、活用の イメージ	
農・自然共生ゾ ーン	ゾーニング 案について	○ 子どもから高齢者まで利用できる空間にしたい ・ 小さい～高齢者が楽しめる ・ 水があると人が集まる
	施 設 や 空 間、活用の イメージ	○ ベンチやテーブルがあり多世代が楽しめる芝生の広場にしたい ・ 小さい～高齢者が楽しめる芝生の広場 ・ 人が集まれるベンチやテーブルがあるとよい ○ 子どもが遊べる水辺が丘を囲むようにしたい ・ 子どもが遊べる小川くらいの水辺 ・ 丘があり、周りを水辺が囲む ・ 道に起伏がある、なだらかな道だと体を動かすのによいかも ○ 市民農園や体験農園、花壇があるとよい ・ 市民が関われる体験農園、花壇がほしい
スポーツ・交流 ゾーン	ゾーニング 案について	○ 多様なスポーツが共存できる場所にしたい ・ 多様なスポーツが共存できるようにしたい ・ 児童～高齢者の利用を想定

	施設や空間、活用のイメージ	○ コミュニティ施設・管理棟は利用しやすく ・ 地区公民館などコミュニティ施設は近隣の人が行き来しやすいところに建てる ・ 管理棟は必要 ・ 利用しやすい立派な施設がよい ・ 管理棟は、人がいて保安になり、売店など買い物ができるとうよい ○ なるべく広くスポーツができるようにしたい ・ できる限り大きくスポーツができるように広げてほしい ・ スポーツ（野球、サッカー）できるなら、土でも芝生でも適切な方でよい ・ グランドゴルフ（芝生）、ゲートボールもできたらよい ・ スポーツ広場はフェンスになってもみどりがあるとよい ・ 無料で使えるようにしてほしい
高架下多目的・活動ゾーン	ゾーニング案について	○ 雨の中でもレクリエーションができる多目的な空間にしたい ・ 多目的な空間に ・ 雨の中でもレクリエーションができる場所 ○ 人が行き来しやすく、治安のよい場所にしたい ・ たまり場になり、治安が悪くならないようにしてほしい ・ 南北で行き来ができるように
	施設や空間、活用のイメージ	○ 多目的に利用しやすくしたい ・ 雨の中でも様々なレクリエーションやバーベキューなどをしてほしい ・ 広さがいらぬスポーツなどは、ネットなどで簡単に空間を区切れるようにして利用しやすいようにしてほしい
付帯工作物との連携ゾーン	ゾーニング案について	
	施設や空間、活用のイメージ	○ 駐車場は動きやすいところに分散して配置したい ・ 駐車場は何カ所か分散して、各場所に行きやすくする ・ 駐車場とコンビニ（売店）など一緒に配置し、治安や水分補給の場所とする ○ 換気塔周辺はみどりに囲まれたスケボーエリアにしたい ・ 音がするスケボーなどは換気塔の近くにすると、周りからも見えて治安にもよいのではないかと ・ 換気塔の周りは植樹がよい ○ 人が入れない場所では自然エネルギー発電を行いたい ・ 人が入れない場所は自然エネルギー発電を

5 グループ（参加者 6 名）

北野の里（仮称） 全体	○ 北野の里（仮称）の範囲は町会（コミュニティ）の単位に合わせよう ・ まちづくりに関わる人と関わらない人が、町会の中で出てこない様に、里の範囲は町会と一緒にした方がよい。町会をまちづくりの単位としてとらえよう ・ 里に入ったことによる制限については、その後で考えよう ○ 「景観的なつながりを大切にする」という表現を入れた方がよい ・ ジャンクションができることで地域は分断されるので、「景観的なつながりを大切にする」ということを表現に入れておいた方がよい ○ ランニングコースやサイクリングコースは日常の通行と交錯しないよう配慮する ・ 外周のランニングコースやサイクリングコースを設けたいとあるが、日常の通行や回遊とバッティングしないよう配慮が必要 ○ ジャンクションを囲む植栽は桜に限定しなくてもよい ・ 周辺にある桜並木やケヤキ並木といった資源との兼ね合いをみて、植栽を考えるのがよい ・ 近隣に住む視点からはあまり落ち葉が出ない樹種がありがたいが、	
農・住調和形成 ゾーン	ゾーニング 案について	○ 都市計画道路沿道の環境をいかに保全するかが重要 ・ 都市計画道路が出来ることによって、高い建物が建つ事は北野の環境には馴染まないが、あまり制限されると持ち主は相続の際などに必要以上の面積を売らなくてはならなくなる ・ 高さは小学校を目安に考えるとともに、建てる時に周辺とのみどりのつながりや、視点場から富士山への眺望を阻害しないなどの配慮をして、北野の価値を守り、育てよう ・ 近隣に住む視点では、街路樹はあまり葉が落ちない樹種がいい
	施設や空間、 活用のイメージ	○ 公会堂は蓋かけ上部空間の中心の近くに移設できるとよい ・ 現在の公会堂の所有が複数にまたがっているため売ることに難航している。蓋かけ上部空間の中心に近い敷地の地主さんは公会堂の移設に協力的 ・ 仙川とつながるとあるが、中川遊歩道との関係が大事 ・ 仙川とのつながりが書かれているが、離れているのであまりピンと来ない。そういう意味では中川遊歩道とのつながりを大事にした方がよい
農・自然共生 ゾーン	ゾーニング 案について	
	施設や空間、 活用のイメージ	○ 農と交流のエリアは周辺の農地と近い位置がよい ・ テーマ 2 の位置の方が、周辺の農地とのつながりが感じやすいのではないか ・ 休耕地を活用して、施設と連携して周辺の農家の活性化につなげたい ○ 築山の配置は見通しに配慮してほしい

		・ 築山は施設の見通しを良くするため、入口側ではなく奥に配置した方がよい ○ 農と交流のエリアとみどりと遊びのエリアの際に管理棟があると便利 ○ 体験農園を設けて周辺の農家の活性化につなげたい ・ 市民農園ではなく、体験農園を設け、運営は農業法人が行う。利用者のコミュニティを育成して、周辺の農家のサポーターになるように発展させられるとよい ○ 公園部分は子どもを第一に考える ・ 公園部分のデザインは、大人の声より子どもや子どもの関わる人の声を大事にしよう ・ 遊びに行ける場所があることが大事 ○ 見晴らしの山と遊びの山をすみ分ける ・ 築山に植樹ができるとよい。木が成長してツリーハウスができるとよい ・ 築山でプレーパーク的な活動をするとうちは崩れてしまうので、眺望を確保する築山と、外遊び用の山を分けて考えた方がよい ○ 水場のデザインは必要な機能をしっかりつめて考える ・ 農作業に必要な水回り、BBQ などの飲食で使うもの、どろんこ遊びをするためのものなどの機能を整理する必要がある
スポーツ・交流ゾーン	ゾーニング案について	○ 既存のスポーツの代替を優先して考える ・ 今使っている人が使えることがまずは必要 ・ 芝にすると野球ができなくなるなら、ダスト舗装の方がいい(でも砂埃が出るか・・・)
	施設や空間、活用のイメージ	
高架下多目的・活動ゾーン	ゾーニング案について	
	施設や空間、活用のイメージ	○ 高架下北東のエリアは、駐車場や消防訓練ができる空間がよい ・ 高架下北東のエリアは、みどりを囲って日当たりが悪いので、駐車場や消防訓練ができる空間がほしい
付帯工作物との連携ゾーン	ゾーニング案について	○ 換気塔は隠すことと活用することを共存させたい ・ 壁面に有名なアーティストに壁画を描いてもらったり、大学生などに活用を考えてもらうなど、活用をするとよい

		・ 活用はするが、周辺の植栽は行い、それらが共存する空間を演出するとよい
	施 設 や 空 間、活用の イメージ	

6グループ（参加者5名）

北野の里(仮称) 全体	○ 北野の里(仮称)の範囲を広げすぎると、今後の土地利用等に影響を及ぼす可能性がないか心配 ・ みどりが多いことに越したことはないが、北野の里（仮称）の範囲を広げることで、景観のルール等によって土地利用や何らかの制限を受けることになり、将来的な固定資産税の増加等に対応できない例が出てくるのではないかと	
農・住調和形成 ゾーン	ゾーニング 案について	○ 仙川は北野を流れておらず、誤解を与える表現になっている ・ 仙川は北野を流れておらず、誤解を与える表現になっているのではないかと ・ 仙川に通じるようにゾーンを広げることを考えるべきではないかと
	施設や空間、 活用のイメージ	○ 都市計画道路沿道の街路樹は樹種を選んで植えた方がよい ・ 都市計画道路沿いの街路樹は、管理しやすい樹種を選んだ方がよい ・ サクラ、イチヨウ、ケヤキ等は管理が大変である ○ バス停は雨を避ける屋根程度の設備があれば十分 ・ 四阿^{あずまや}は便利だが、雨を避ける屋根程度のものがあれば十分 ・ 管理体制が整っている必要がある。子どもの落書き等も多く、管理が中途半端だと逆に美観を損ねる結果につながる
農・自然共生 ゾーン	ゾーニング 案について	
	施設や空間、 活用のイメージ	○ 築山はエリアプラン1のように奥まった場所にほしい ・ 築山は都道から離れた、奥まった場所にあった方がよい ・ 農・自然共生ゾーン内ではなく、換気所を覆う方法はないのか ○ 「水と憩いのエリア」は遊べる水辺か眺める水辺か方針を決めた上で設置したい ・ 水辺はあった方がいいが、コンクリートで囲って子どもでも遊べる水辺とするか、丸池の里のようにビオトープとするかで使われ方が大きく変わってくる ・ 水辺の管理をどうするか気になる ・ 築山とセットで存在するとよい ○ コミュニティセンターや市民農園等の管理体制は今から気にかけておきたい ・ コミュニティセンターや市民農園等魅力的な施設が多く上がっているものの、その管理体制が不十分では機能しない。今から体制を気にかけておきたい ・ 丸池の里の「村人」など、組織の形成ができるとよい ○ 植樹はハナミズキなどの管理しやすいものがよい ・ 植樹はハナミズキなどの管理しやすいものがよい
スポーツ・交流	ゾーニング	

ゾーン	案について	
	施設や空間、活用のイメージ	○ 「競技スポーツエリア」は芝生で様々な人が使える場とした方がよい ・ スポーツ広場は砂埃が発生するようだと近隣に迷惑になったり、苦情の原因となりかねないので、芝生敷きが好ましい ・ 芝生敷きだと一部スポーツに制限が出てしまうが、様々な人が使える憩いのスペースとなればよい ○ 管理棟付近に自転車置き場があるとよい ・ 管理棟付近に自転車置き場があるとよい ○ 管理棟の管理体制は今から気にかけておきたい ・ 管理棟の管理体制が不十分では機能しない。今から体制を気にかけておきたい
高架下多目的・活動ゾーン	ゾーニング案について	
	施設や空間、活用のイメージ	
付帯工作物との連携ゾーン	ゾーニング案について	
	施設や空間、活用のイメージ	○ 換気塔は築山などで覆い視点場として使えるとよい ・ 換気塔を築山で覆ってしまうという、他のグループで以前出ていたアイデアはとても面白いものである ・ 富士山に見える視点場はあった方がよいので、換気所周りにつくってみてはどうか ○ 2つの換気所は、それぞれ特徴のある異なる使い方ができるとよい ・ 2つ換気所があるので、それぞれの使い方ができるとよい ・ 北は富士山を眺められる視点場、南は絵を描けたり、植樹して周囲に馴染ませたりする場として機能を持たせられるとよい

北野の里（仮称）まちづくりワークショップ運営事務局

主催者 三鷹市 共催者 国土交通省 東京都

協力者 東日本高速道路株式会社 中日本高速道路株式会社

問い合わせ

三鷹市都市整備部まちづくり推進課

〒181-8555 三鷹市野崎 1－1－1

電話 0422-45-1151（2864・2865）

